

2011年6月6日

ブライダル総研 夫婦関係調査2011

約7割が夫婦関係に満足、40代がターニングポイント。
夫婦関係の感じ方には年代・男女間で大きなギャップも。
～互いの気持ちに注意を向けて、“夫婦の絆”のメンテナンスを～

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO: 柏木 斉)が運営するブライダル総研では、夫婦関係の状況について詳細に把握するために、20代から60代の既婚者および離婚経験のある独身者計1200人を対象に『夫婦関係調査』を首都圏、東海、関西の3地域で実施しました。ここに調査結果の要旨をご報告いたします。(リクルート ブライダル総研 鈴木直樹)

【主な調査結果と見解】

<夫婦関係の満足状況>

- P3 ◆20～60代の約7割が夫婦関係に満足、妻よりも夫のほうが満足度高い傾向。40代が底に
「夫婦関係に満足」と答えたのは、既婚者全体で70.5%。男性73.4%、女性67.6%で、全体として妻より夫の満足度が高い結果となりました。年代別では、20代の満足度が最も高く、年代が上がるにつれ低下し、40代を底に上昇に転じています。性・年代別では、50代女性の満足度が40代の60.0%よりもさらに低下し54.0%となるのに対し、50代男性は40代の62.0%から上昇し73.0%となるなど、男女間の傾向の差がみられます。
- P4 ◆夫婦満足アップの秘訣は、夫は「双方向のコミュニケーション」、妻は加えて「夫が自分の話をよく聞いてくれること」と「夫が自分を評価してくれること」
女性は「コミュニケーションが十分にとれている」ことを前提とし、さらに「配偶者が自分の心配や悩みを聞いてくれる」「配偶者が自分の能力や努力を評価している」と感じる事が夫婦満足に強く影響している様子がみられます。日頃の夫の「話を聞く姿勢」と「妻を褒める言葉」が円満な夫婦仲への特効薬なのかもしれません。
- P5 ◆満足度の高い夫婦は、普段から一緒に「寝る」「遊ぶ」、結婚当時の気持ちを思い出す習慣も
夫婦満足の高い夫婦はそうではない夫婦よりも、週1回以上「同じ部屋で一緒に寝る」「一緒に遊んだり、趣味を楽しむ」「一緒に買い物に出かける」割合が非常に高いことがわかりました。結婚にまつわる習慣では「結婚記念日を夫婦で祝う」「結婚式の写真やビデオを見る」「(配偶者が)結婚指輪をつける」の割合が高い結果となっています。

<夫婦関係に関する男女のギャップ>

- P6・7 ◆想うほどには妻に伝わらぬ夫の愛。結婚年数とともに広がる夫婦のギャップ
夫婦関係の感じ方で男女間の差が大きく、夫のほうが高い項目は「自分を犠牲にしても配偶者を幸せにしたい」「配偶者を愛している」「楽しさ・やすらぎを感じる」でした。しかしその気持ちはあまり妻には伝わっていないようです。「配偶者を愛している」という気持ちは、結婚生活を経るごとにギャップが広がる一方で、「自分を犠牲にしても相手を幸せにしたい」は、結婚当初から一定のギャップが存在します。妻を愛し、幸せにしたいという夫の決意はそう簡単には揺るがないもの。そんな言葉にならない夫の想いに、妻は気付いてあげたいものです。

<今後の離婚について>

- P8 ◆40代が最大の夫婦の危機。結婚時のセレモニーで早期の“夫婦の絆固め”を
「この先離婚することはない」という問いに「そう思う」と答えた割合が最も低かったのは、男女ともに40代でした。また、「既婚者」と「離婚経験のある独身者」の結婚時のセレモニー実施状況で差が大きい項目は、「披露宴・披露パーティ」「婚約指輪の購入」「挙式」の実施でした。

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、“夫婦関係調査2011 リクルートブライダル総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/form/inquiry_press.php

【調査概要】

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2011年3月24日(木)～3月29日(火)

【調査対象】 首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)、東海(愛知・岐阜・三重)、関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山)在住で、「既婚者かつ本人初婚」および「離婚経験のある独身者かつ結婚経験1回」の20～60代の男女

【集計サンプル数】計1200人

「既婚者かつ本人初婚」20代男女、30代男女、40代男女、50代男女 各100

60代前半男女、60代後半男女 各50

「離婚経験のある独身者かつ結婚経験1回」20代男女、30代男女、40代男女、50代男女 各20

60代前半男女、60代後半男女 各10

(注)本調査における「既婚者」「未婚者」「独身者」は、以下のように定義させていただきます。

「既婚者」=現在配偶者のいる者(有配偶者)

「未婚者」「独身者」=結婚経験の有無に関わらず、現在配偶者のいない者(無配偶者)

【回答者のプロフィール】

■既婚者(本人初婚)

【男性(夫本人)】

	合計	首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)	東海(愛知・岐阜・三重)	関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山)
合計	500	264	86	150
20～29歳	100	46	20	34
30～39歳	100	52	24	24
40～49歳	100	58	10	32
50～59歳	100	56	17	27
60～64歳	50	26	8	16
65～69歳	50	26	7	17

【女性(妻本人)】

	合計	首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)	東海(愛知・岐阜・三重)	関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山)
合計	500	269	73	158
20～29歳	100	50	19	31
30～39歳	100	58	15	27
40～49歳	100	53	13	34
50～59歳	100	53	18	29
60～64歳	50	31	2	17
65～69歳	50	24	6	20

■離婚経験のある独身者(結婚経験1回)

【男性】

	合計	首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)	東海(愛知・岐阜・三重)	関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山)
合計	100	59	11	30
20～29歳	20	10	4	6
30～39歳	20	9	2	9
40～49歳	20	13	3	4
50～59歳	20	14	0	6
60～64歳	10	5	0	5
65～69歳	10	8	2	0

【女性】

	合計	首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)	東海(愛知・岐阜・三重)	関西(大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山)
合計	100	55	9	36
20～29歳	20	12	1	7
30～39歳	20	14	1	5
40～49歳	20	11	3	6
50～59歳	20	8	3	9
60～64歳	10	5	0	5
65～69歳	10	5	1	4

◇「夫婦関係に満足」と答えた既婚者は、全体で**70.5%**（「非常にそう思う」「ややそう思う」を合計した割合）。

男女別では男性が**73.4%**、女性が**67.6%**と、妻よりも夫のほうが満足している割合が高い結果となりました。

◇年代別では20代（81.0%）の満足の割合が最も高く、年代が上がるにつれて低下しますが、40代（61.0%）を底に上昇に転じます。40代は30代と比べて12.5ptも低く、男女ともに難しい年代であることがわかります。

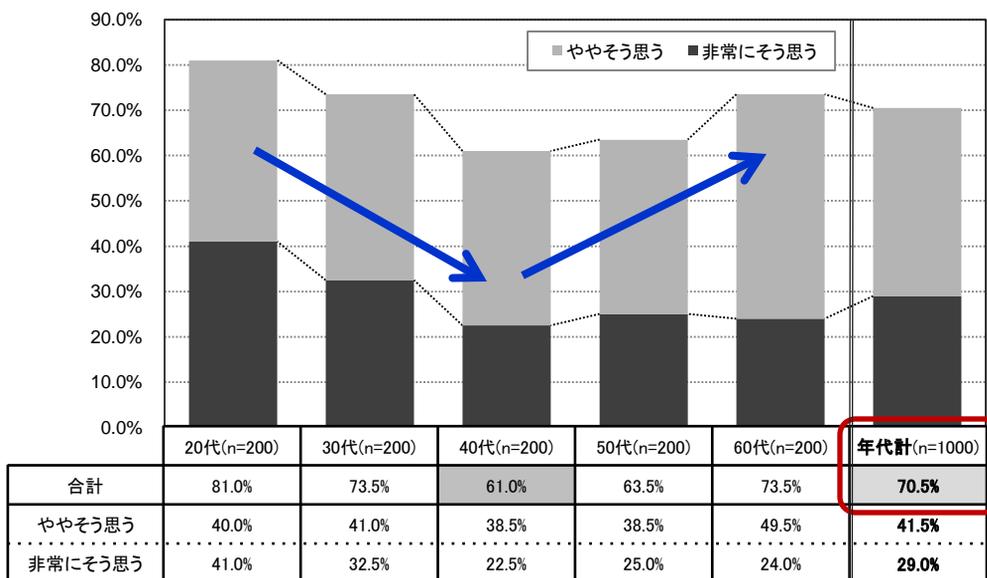
◇性・年代別では、最も満足している割合が高いのは「20代男性」（82.0%）、次いで「20代女性」（80.0%）、反対に最も低いのは「50代女性」（54.0%）、次いで「40代女性」（60.0%）でした。

特に50代は、女性の**54.0%**に対して男性の満足の割合は**73.0%**と非常にギャップがあります。

50代の妻を持つ夫は、ぜひこの機会に妻の様子に注意を向けられてみてはいかがでしょうか。

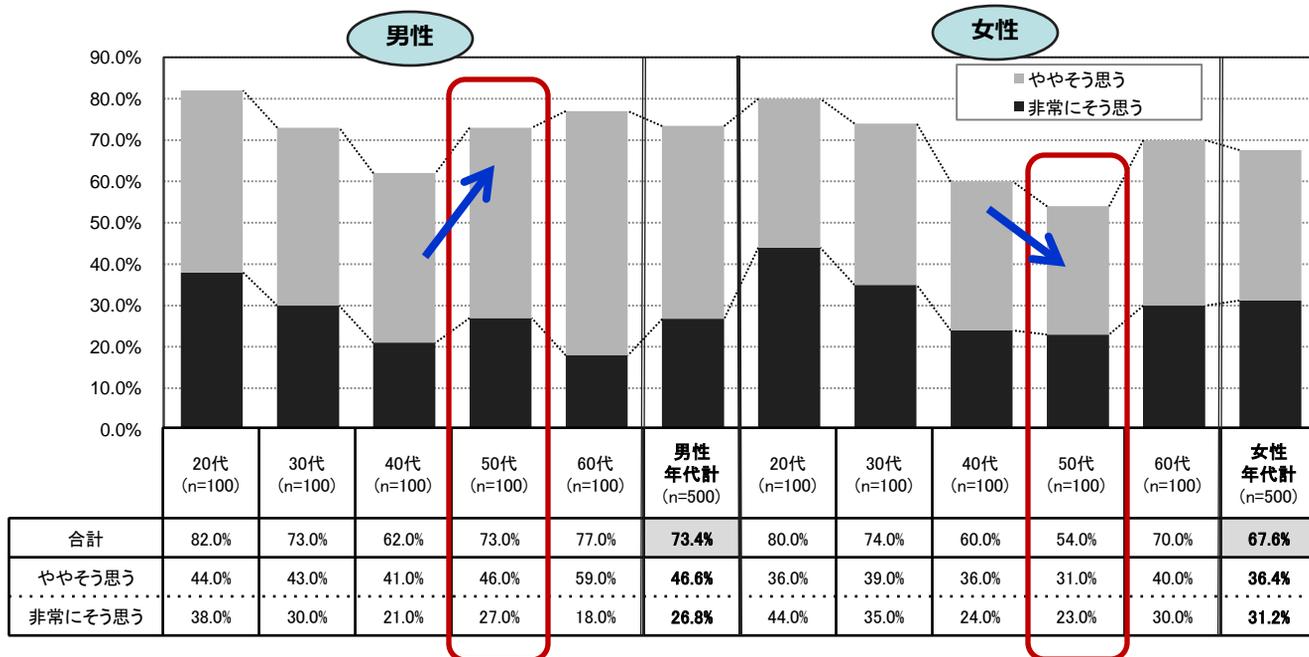
■夫婦関係の満足度／年代別（既婚者）

Q 夫婦関係に満足している



■夫婦関係の満足度／性・年代別（既婚者）

Q 夫婦関係に満足している



では、夫婦関係満足と関連性の強い「夫婦の関係」とは何でしょうか。

◇男性は、「よく会話する」「コミュニケーションが十分に取れている」「配偶者との性生活に満足している」の3項目で、夫婦関係に満足している男性とそうでない男性との差が比較的大きくみられます。

◇女性の場合は、会話・コミュニケーションの大切さに加えて

相手に自分の考えや悩みをよく話し、かつ「相手がそれをよく聞いていること」(自己開示と配偶者による受容)と、「相手が自分を評価してくれること」(配偶者による評価)について、満足している女性とそうでない女性との差が特に大きく、これらが夫婦関係満足に強く影響している様子がみとれます。

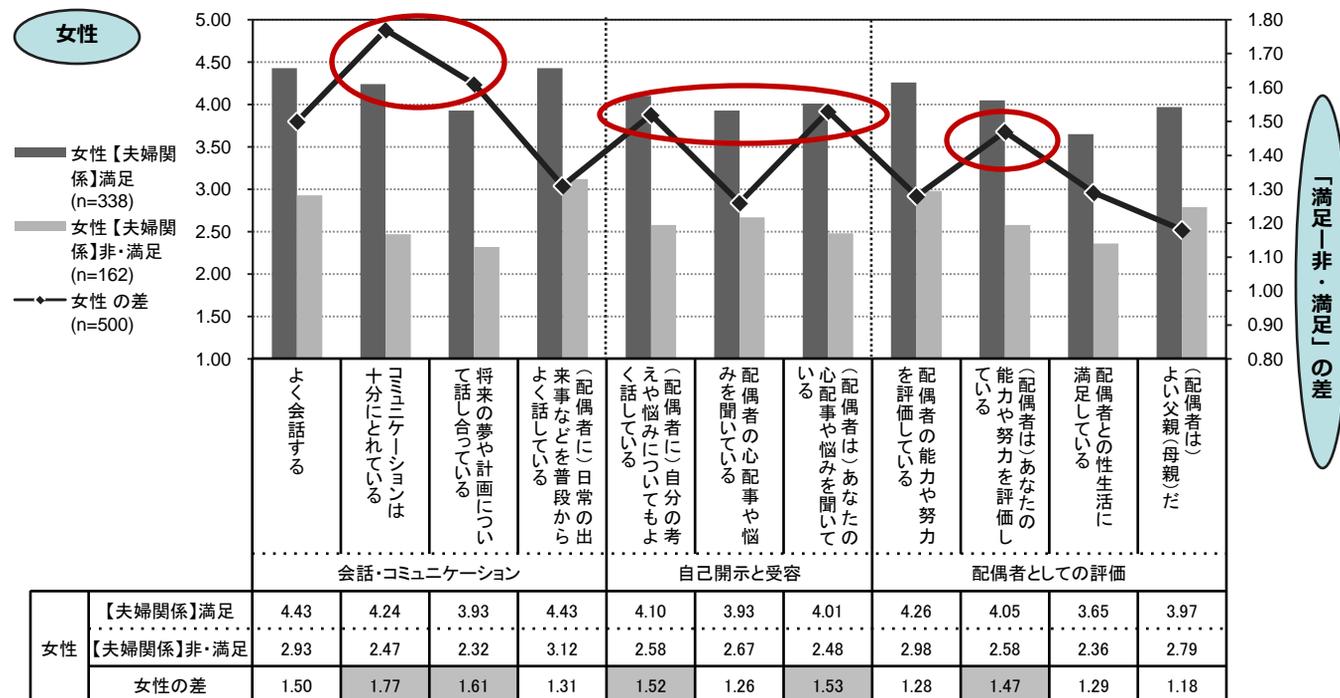
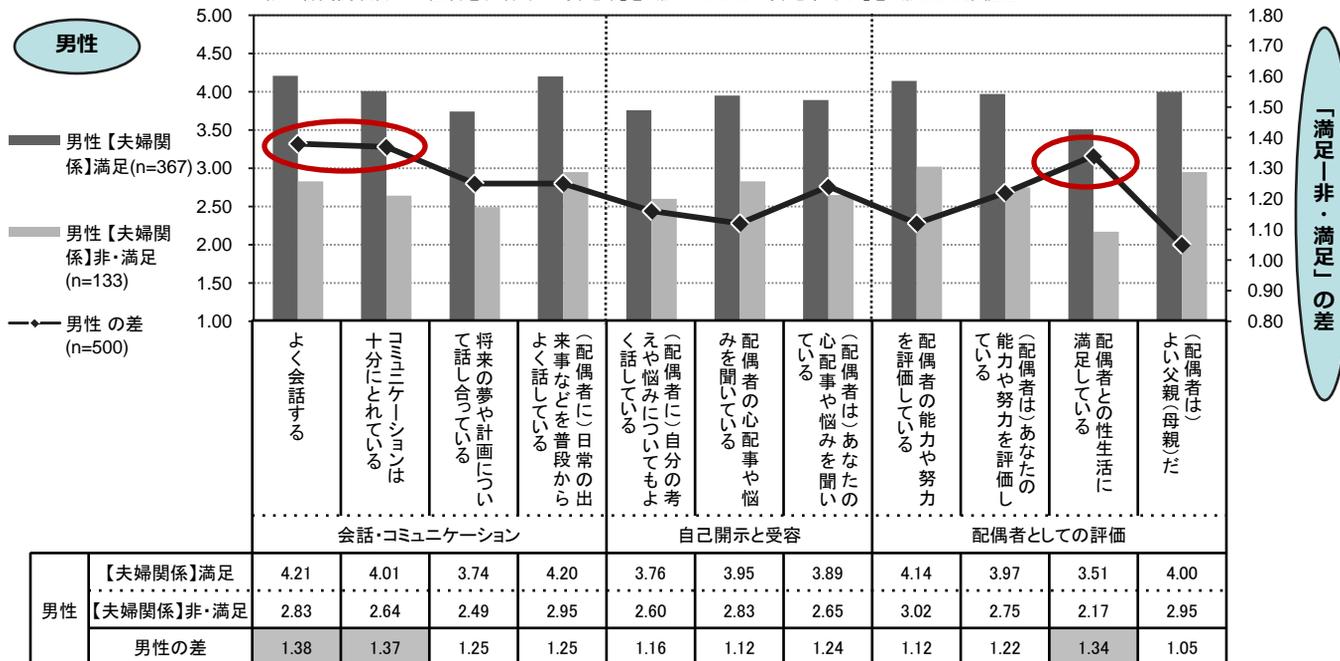
日頃の夫の「話を聞く姿勢」と「妻を褒める言葉」が円満な夫婦仲への特効薬なのかもしれません。

■「夫婦関係満足度」と「夫婦の関係」／男女別(既婚者)

(注)【夫婦関係】満足・・・「夫婦関係に満足している」に対して、「やや～非常にそう思う」と回答した群

【夫婦関係】非・満足・・・「夫婦関係に満足している」に対して、「どちらともいえない～まったくそう思わない」と回答した群

<Y軸>各質問項目への回答を、「非常にそう思う」を5点～「まったくそう思わない」を1点として数値化



夫婦関係に「とても満足」している夫婦は、普段どのような行動を夫婦でとっているのでしょうか。

◇食事や睡眠などの日常のことはもちろん、夫婦の61.0%が「買い物」、50.0%が「趣味」を、「週に1回以上」一緒に出かけ楽しんでいることがわかります。

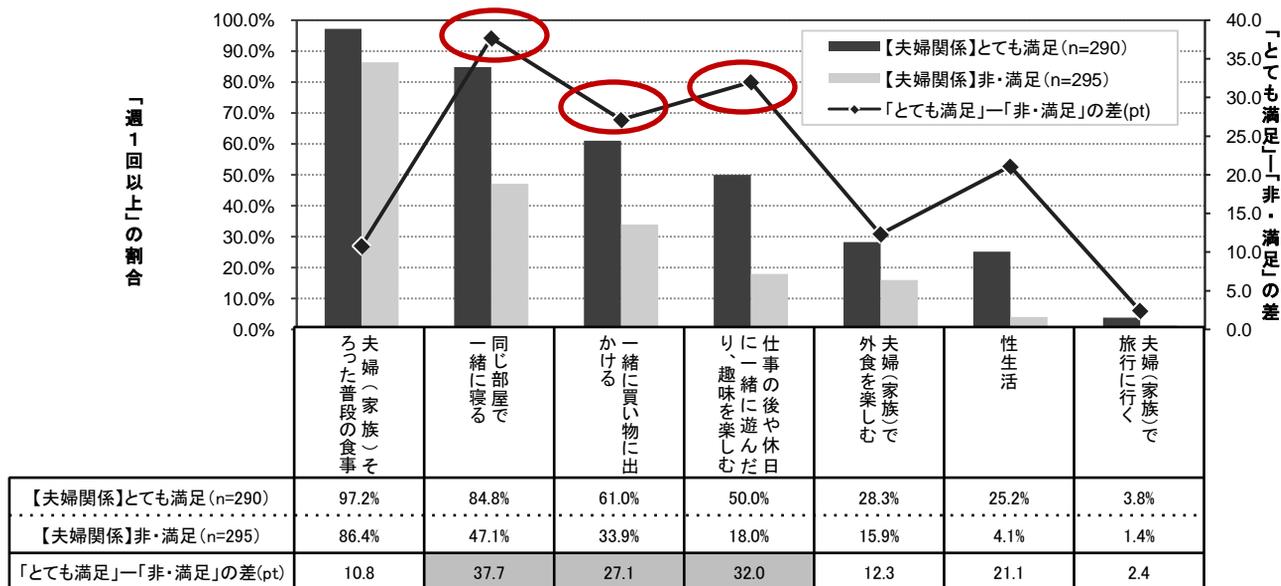
◇夫婦関係に“非・満足な夫婦”と比べて、特に割合の差が大きい項目は、「同じ部屋で一緒に寝る」(37.7pt)、「一緒に遊んだり、趣味を楽しむ」(32.0pt)、「一緒に買い物に出かける」(27.1pt)でした。

◇「結婚・結婚式・記念日まつわる習慣」の実施では、夫婦関係に「とても満足」している夫婦が、すべての項目で“非・満足な夫婦”の割合を上回りました。特に差が大きい項目が「結婚記念日を夫婦で祝う」(37.4pt)、「結婚式の写真やビデオを見る」(36.6pt)、「配偶者が結婚指輪をつけている」(29.9pt)の3項目でした。

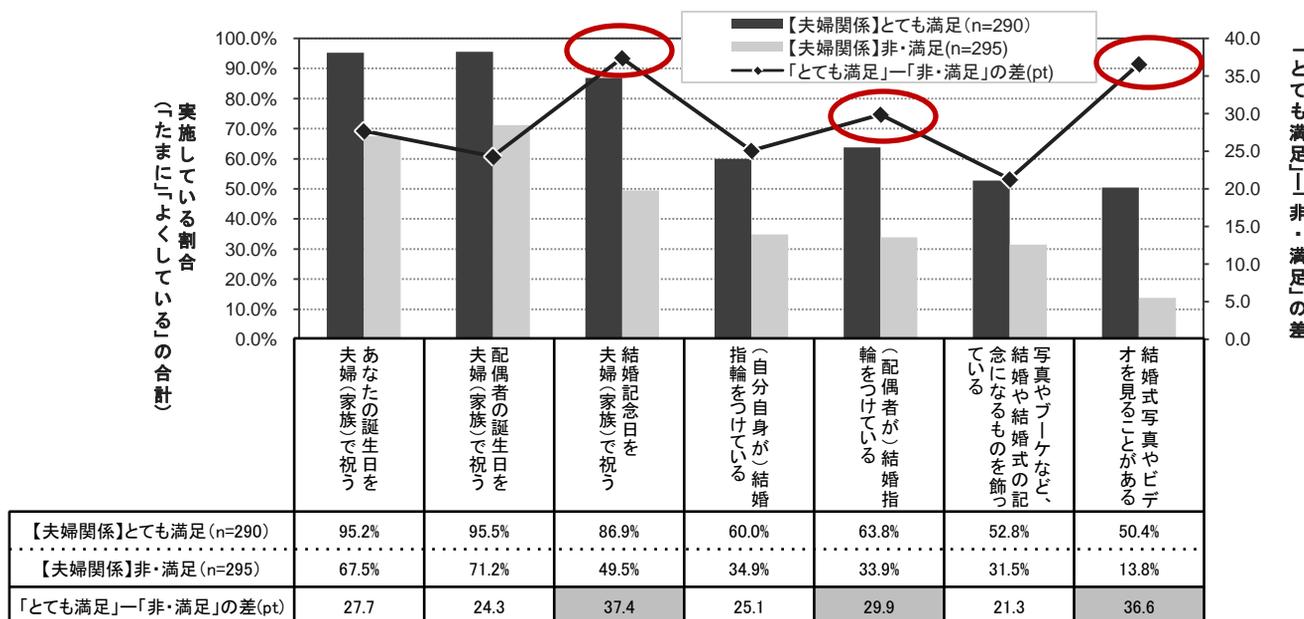
“夫婦であること”を折りにふれ思い出見つめ直すことで、ふたりの絆がいつそう深まるのかもしれませんが。

(注)「【夫婦関係】とても満足」・・・「夫婦関係に満足している」に対して、「非常にそう思う」と回答した群
 「【夫婦関係】非・満足」・・・「夫婦関係に満足している」に対して、「どちらともいえない～まったくそう思わない」と回答した群

■各「夫婦の行動」を「週に1回以上」行っている割合(既婚者)



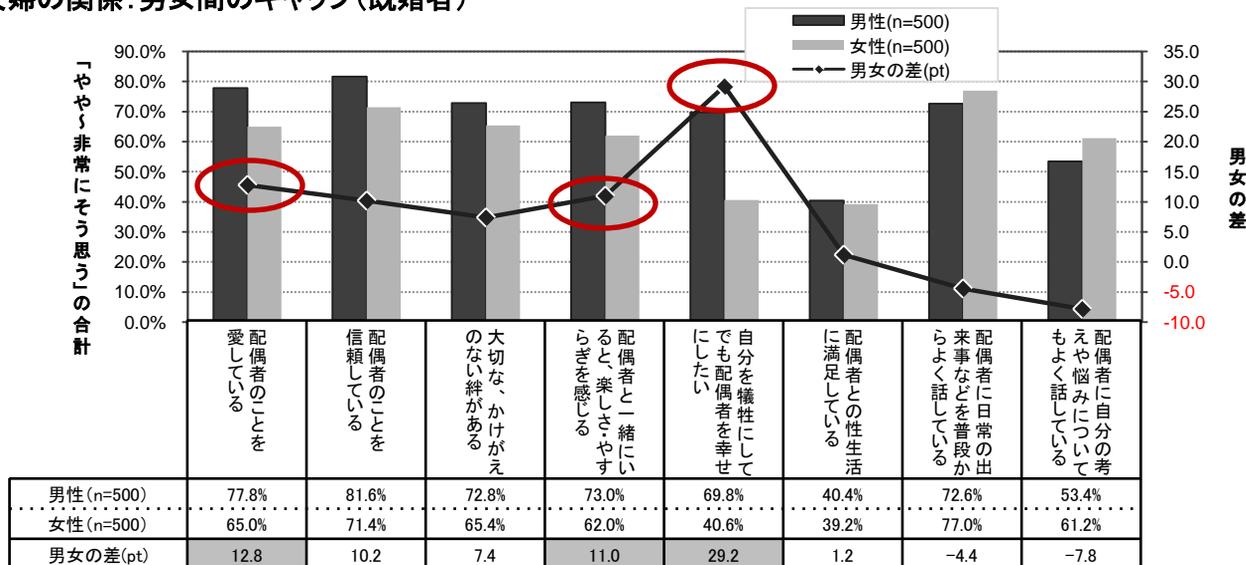
■「結婚・結婚式・記念日まつわる習慣」を実施している割合(既婚者)



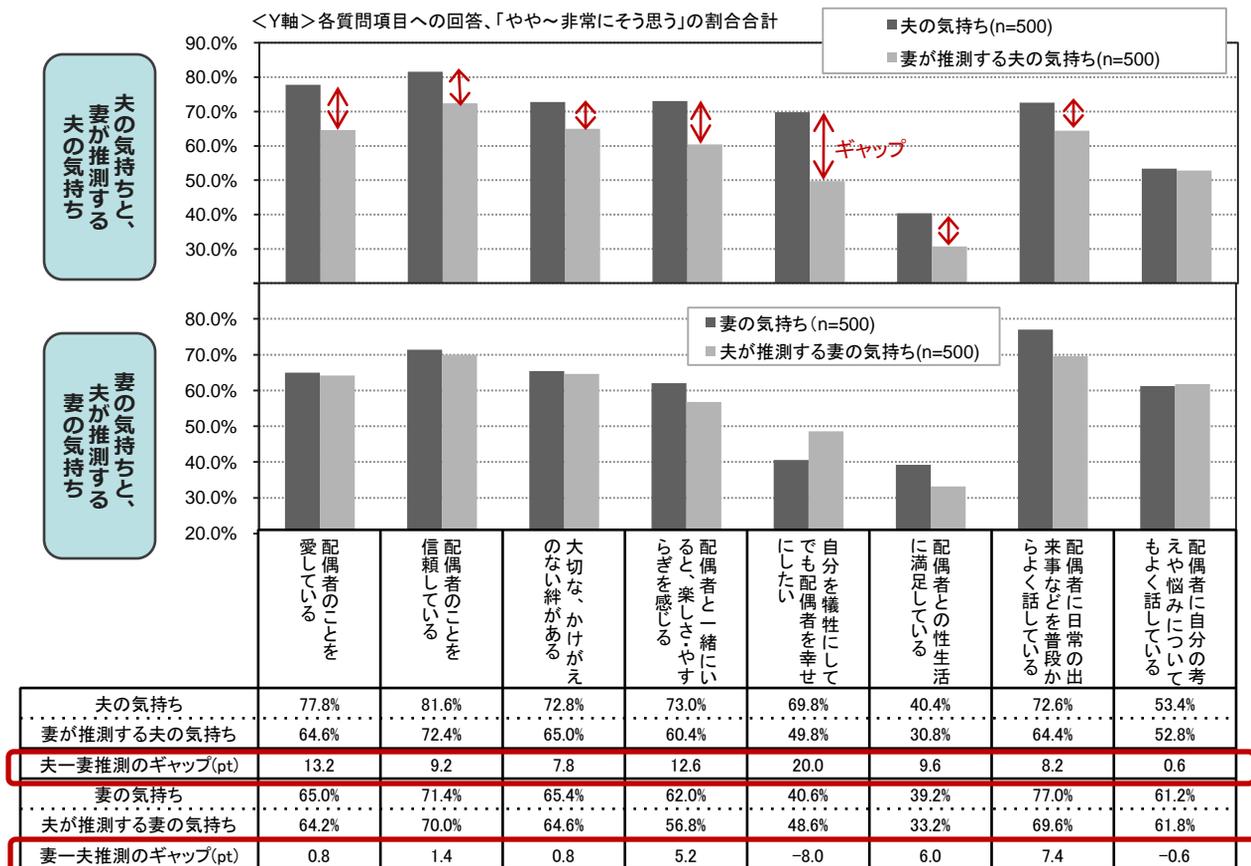
「夫婦の関係」に関して、男女間に気持ちの大きなギャップが見られました。

- ◇男性のほうが「そう思う」と答えた割合が高かった項目は「自分を犠牲にしても配偶者を幸せにしたい」(29.2p)、「配偶者のことを愛している」(12.8pt)「配偶者と一緒になると、楽しさ・やすらぎを感じる」(11.0pt)でした。
- ◇また、「妻の気持ちと、夫が推察する妻の気持ち」のズレが小さいことと比較して、「夫の気持ちと、妻が推測する夫の気持ち」のギャップが大きいことがわかりました。夫が思うほどに、妻にはその気持ちが伝わっていないようです。

■夫婦の関係：男女間のギャップ(既婚者)

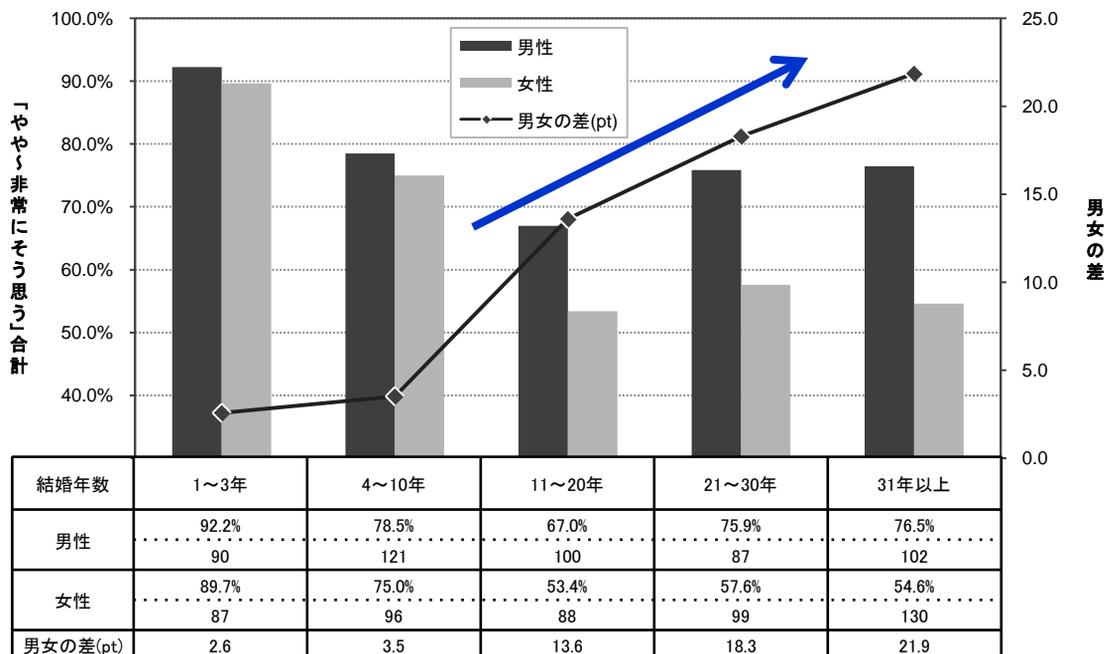


■夫婦の関係：自己評価と他者評価のギャップ(既婚者) ※参考(P9)：質問票



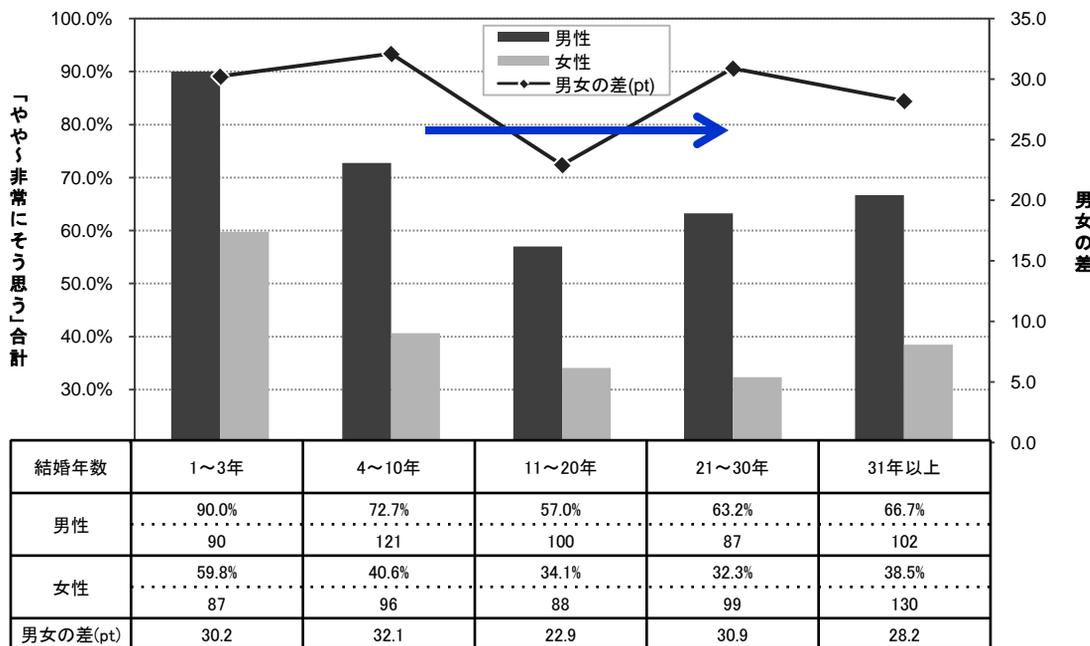
- ◇男女のギャップが大きい項目の中でも「配偶者のことを愛している」と「自分を犠牲にしても配偶者を幸せにしたい」では、ギャップの出方が大きく異なります。
- ◇「配偶者のことを愛している」は、結婚当初の男女間ではほとんどギャップがありませんが、結婚年数を経るにしたがってギャップが広がってきます。特に女性の気持ちの“冷え込み”が目立ちます。
- ◇一方で、「自分を犠牲にしても配偶者を幸せにしたい」のギャップは結婚年数が少なくても大きく、結婚年数によらず、常に20pt~30ptの男女ギャップが存在します。男性は結婚年数にかかわらず、女性が思うよりも強く「相手を幸せにしたい」という気持ちを持っています。

■夫婦の関係:「配偶者のことを愛している」/性・結婚年数別(既婚者)



※下段は集計サンプル数

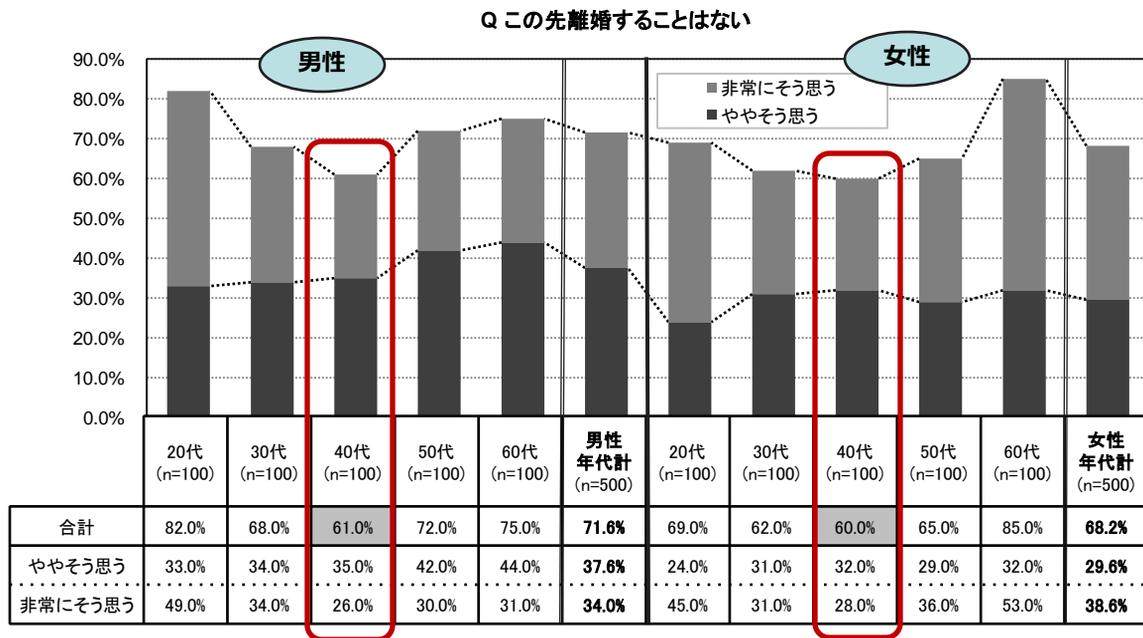
■夫婦の関係:「自分を犠牲にしても配偶者を幸せにしたい」/性・結婚年数別(既婚者)



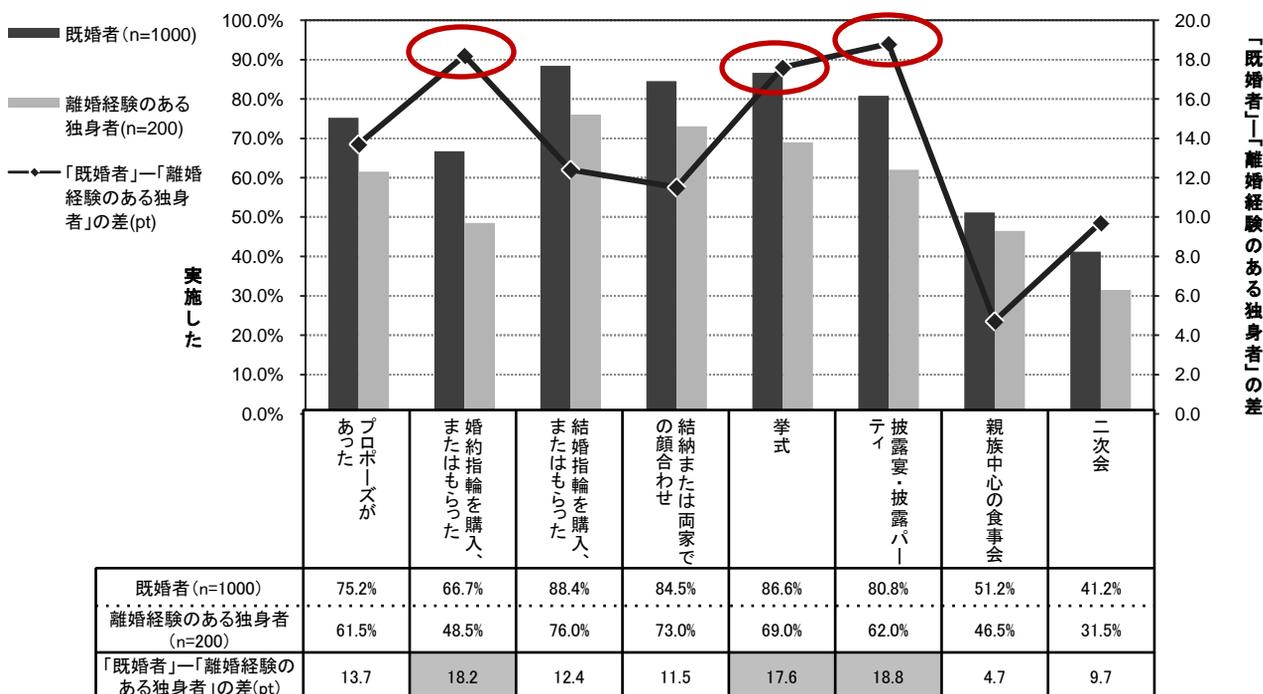
※下段は集計サンプル数

- ◇「この先離婚することはない」と答えた人が最も少ない性・年代は、「40代女性」と「40代男性」でした。20代～60代の中では、離婚の可能性を最も高く持つ年代であるとも考えることができます。
- ◇「既婚者」と「離婚経験のある独身者」の結婚時のセレモニー実施状況で差が大きい項目は、「披露宴・披露パーティを実施した」(18.8pt)、「婚約指輪を購入、またはもらった」(18.2pt)、「挙式を実施した」(17.6pt)でした。

■今後の離婚について／性・年代別(既婚者)



■結婚時のセレモニー実施状況／既婚者・離婚経験のある独身者別



※(P6)「夫婦の関係:自己評価と他者評価のギャップ(既婚者)」は、以下の質問から構成しています。

(例)

「夫の気持ちと、妻が推測する夫の気持ち」は、既婚男性によるQ14の回答(左側)と既婚女性によるQ15の回答(右側)を対応させ、その差に注目したものです。

(「妻の気持ちと、夫が推測する妻の気持ち」は、上記の男女が入れ替わったものです)

男性による回答

Q14:夫婦関係や配偶者のことについて、お答えください。

- [あなたは]配偶者のことを愛している
- [あなたは]配偶者のことを信頼している
- 大切な、かけがえのない絆がある
- [あなたは]配偶者と一緒にいると、楽しさ・やすらぎを感じる
- [あなたは]自分を犠牲にしても配偶者を幸せにしたい
- [あなたは]配偶者との性生活に満足している
- [あなたは]配偶者に日常の出来事などを普段からよく話している
- [あなたは]配偶者に自分の考えや悩みについてもよく話している

「まったくそう
思わない」～
「非常にそう
思う」の
5段階評価

Q15:配偶者は以下のことについて、どのように思っていますか。配偶者の気持ちを推測してお答えください。

- [配偶者は]あなたを愛している
- [配偶者は]あなたのことを信頼している
- [配偶者は]あなたとの間に大切な、かけがえのない絆を感じている
- [配偶者は]あなたと一緒にいると、楽しさ・やすらぎを感じる
- [配偶者は]自分を犠牲にしてもあなたを幸せにしたいと思っている
- [配偶者は]あなたとの性生活に満足している
- [配偶者は]あなたに日常の出来事などを普段からよく話している
- [配偶者は]あなたに自分の考えや悩みを話している

「まったくそう
思わない」～
「非常にそう
思う」の
5段階評価

女性による回答

Q14:夫婦関係や配偶者のことについて、お答えください。

- [あなたは]配偶者のことを愛している
- [あなたは]配偶者のことを信頼している
- 大切な、かけがえのない絆がある
- [あなたは]配偶者と一緒にいると、楽しさ・やすらぎを感じる
- [あなたは]自分を犠牲にしても配偶者を幸せにしたい
- [あなたは]配偶者との性生活に満足している
- [あなたは]配偶者に日常の出来事などを普段からよく話している
- [あなたは]配偶者に自分の考えや悩みについてもよく話している

Q15:配偶者は以下のことについて、どのように思っていますか。配偶者の気持ちを推測してお答えください。

- [配偶者は]あなたを愛している
- [配偶者は]あなたのことを信頼している
- [配偶者は]あなたとの間に大切な、かけがえのない絆を感じている
- [配偶者は]あなたと一緒にいると、楽しさ・やすらぎを感じる
- [配偶者は]自分を犠牲にしてもあなたを幸せにしたいと思っている
- [配偶者は]あなたとの性生活に満足している
- [配偶者は]あなたに日常の出来事などを普段からよく話している
- [配偶者は]あなたに自分の考えや悩みを話している

夫の気持ち(左)と、
妻が推測する夫の気持ち(右)